

平成28年度 上級者ステップアップ研修会開催要綱

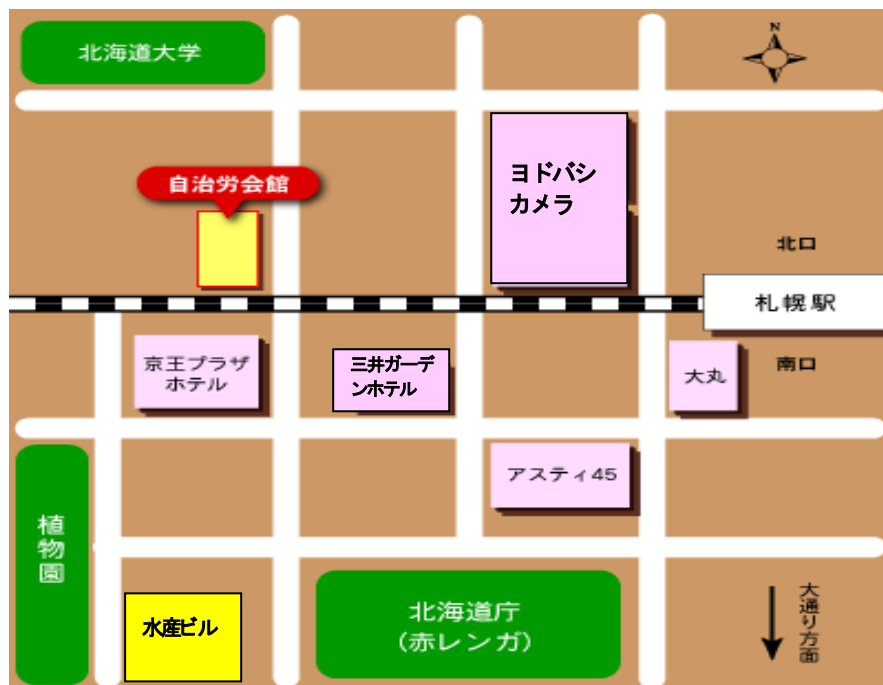
1. 趣 旨

昨今の法改正により、高齢者及び障がい者が地域で自立した生活を送るための取り組みが進められ、利用者ニーズも多様化してきています。このようなニーズに対応し、専門的な質の高い介護サービスを提供するためには、ホームヘルパー一人ひとりの資質向上が欠かせません。

そこで、本研修は、チームケアを基本とする介護現場において介護リーダーとなるホームヘルパーの方々が自らの役割を認識し、リーダーとしての自覚を持ち、それにふさわしい知識や必要なスキルを習得することを目的に開催します。

2. 主 催 北海道ホームヘルプサービス協議会
3. 期 日 平成28年12月12日（月） 10:20～16:10
4. 会 場 北海道自治労会館 5階「大ホール」（札幌市北区北6条西7丁目）
5. 参加対象 ホームヘルプサービス従事者・管理者等
（概ね、実務経験5年以上のホームヘルパー及び事業所管理者）
6. 参加定員 250名
7. 参加費 北海道ホームヘルプサービス協議会会員・準会員 3,000円
上記以外の方 6,000円
※当日会場にて承ります。

【会場図】



<裏面に続く>

8. 内 容

時間	内 容
9:30～10:20	受 付
10:20～10:30	開 会
10:30～12:00 (90分)	○シンポジウム 「災害時におけるホームヘルパーや訪問介護事業所の対応を考える」 平成28年8月末に発生した台風の影響により、降雨による河川氾濫や浸水被害など、北海道各地に甚大な被害をもたらしました。 このような災害時において、訪問介護事業所における利用者への対応やホームヘルパーの役割、各関係機関との連携など実際の事例をとおして考えます。 進行：七戸 キヨ子（北海道ホームヘルプサービス協議会 会長） 実践報告者： 佐々木 薫（北海道ホームヘルプサービス協議会 副会長）（十勝地区） 山之内 貴子（北海道ホームヘルプサービス協議会 副会長）（日高地区）
12:00～13:00	昼 食・休 憩
13:00～16:00 (180分) ※途中 休憩あり	講義・演習「訪問介護計画の立案の仕方～リハビリ・ICFの視点から」 「訪問介護計画書」を作成する際には、「居宅サービス計画書」を基に、利用者の日常生活全般の状況や希望を踏まえてアセスメントし、訪問介護の目標を達成するための具体的なサービス内容等を記載することが必要です。 また、ICFの視点から、アセスメントを介護計画に反映させることで、効果的な自立支援を行うことが大切です。ここでは、アセスメントからモニタリングまで、訪問介護計画作成に必要な知識について理解します。 また、実践事例及び会場からの質疑応答をとおして、訪問介護計画作成にあたっての記入のポイントや注意すべき点などについて学びます。 講師：七戸キヨ子（北海道ホームヘルプサービス協議会 会長）
16:10	閉 会

9. 宿泊・昼食について

宿泊が必要な方については、各自にて御手配ください。

また、昼食のお弁当につきまして、500円（税込）にて販売いたしますので、必要な方は、参加申込の際に併せてお申し込みください（領収書はお弁当業者発行のものになります）。

10. 申込締切日

別添参加申込書によりFAXにて、平成28年12月5日（月）までにお申し込み願います。

※会員・準会員を優先とし、その上で定員を超える場合には、先着順を基本として受け付けいたします。

ただし、申込締切日以前であっても、定員になり次第、締切とさせていただきますので予め御了承願います。

11. 持参資料

午後からの講義・演習「訪問介護計画の立案の仕方～リハビリ・ICFの視点から」では、参加者同士で、訪問介護計画の情報交換を行う予定です。

各々の訪問介護事業所において、訪問介護計画が違うので、参考資料として当日1事例、必ず持参ください。なお、訪問介護計画に基づく居宅サービス計画書も併せてご持参願います。
(個人情報特定されないよう、仮名や塗りつぶすなどで工夫してください)

12. 参加申込み・お問合せ先

北海道ホームヘルプサービス協議会事務局（担当：鈴木・寺井）

北海道社会福祉協議会 地域福祉部地域福祉課

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 北海道社会福祉総合センター2階

TEL 011-241-3977（直通） 241-3976（代表） Fax 011-271-3956